

宮城教育大学機関リポジトリ

ご挨拶

著者	小野 元久
雑誌名	宮城教育大学情報処理センター年報
号	16
ページ	3-3
発行年	2009-03-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1138/00000367/



小野元久 教育学部技術教育講座

平成 20 年度情報処理センター長に就任いたしました。これまで情報処理センターのユーザとしていろいろな面で情報処理センターを利用してまいりましたが、今度は、管理者の立場に関わることになりましたどうぞ宜しくお願い申し上げます。

本学情報センターのシステム更新は、4 年に一度行われることになっておりますが、財政状況が厳しい折り、学内ユーザに満足していただけるシステムとするために機器更新の委員会の方々には大変なご尽力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。今回の更新では、主に次のような改善が図られました。

- ・ 第 2 演習室は従来 3 つの部分に分かれており新システムでも同様に使える他、端末数を増やし、1 つにまとめて 100 人の大教室としても使えるレイアウトとしました。

- ・ 第 3 演習室は Mac が多いレイアウトでしたが、Mac あるいは Windows のどちらにも使える端末としました。また、同様の端末を図書館にも設置しました。

- ・ 新しい Web Mail として Active Mail を導入し、学外でのメールの確認が容易になりました。

新米情報処理センター長としては、本学の状況だけでなく他大学での状況を全く把握しておりませんでしたので、国立大学法人情報系センター協議会（お茶の水女子大学開催、6 月 20 日）と国立大学法人情報系センター長会議（大分大学開催、11 月 7 日）に出席する機会を得ました。双方の会議において、文部科学省の国立大学法人情報処理センターに対する考え方を知ることが出来ました。すなわち、各大学の学術情報基盤の整備にあたっては、各大学の自助努力を前提にして援助する、情報処理システムは研究教育活動を支える必要不可欠なものと認識しているとのことでした。また、最近の動向として、情報戦略の策定を各大学に求めているとのことでした。さらに、統合認証システムの採用ならびに構築を計画している大学や、ISO27001 の取得を目指している大学があるなど知ることができました。昨今の厳しい状況下にあって、各大学の情報処理センターでは、教育・研究および大学運営に実効ある活動を展開しようとしており、本学の情報処理センターにおいてもサービス向上のために、益々の努力が必要であると認識いたしております。